

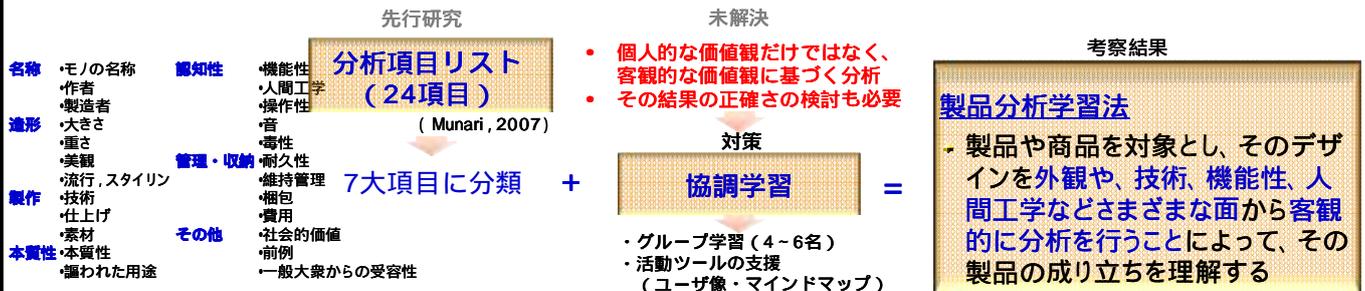
発表タイトル	Product Analysis Learning Method: Collaborative Learning and List of Analysis Items
発表者所属名	文化科学研究科メディア社会文化専攻* 放送大学ICT活用・遠隔教育センター**
発表者氏名	林 海福* 加藤浩**

発表内容

研究目的:本研究は、デザイン学科の工業デザイン専攻の大学生を対象とし、協調学習と分析項目リストを取り入れた製品分析学習法を提案することを目的とする。

研究方法:

1. 製品分析に関する先行研究を分析・検討する



2. 提案: 協調学習と分析項目リストを取り入れた製品分析学習法

学習目標

- ・ 製品の長所・短所を分析できること
- ・ 自分のデザインを説明できること

想定される学習効果

- ・ 協調的に製品分析することによって、他学習者と互いに分析の内容を理解しあったうえ、新しい視点が発見できる
- ・ 多視点から製品を適切に分析できる
- ・ 製品の分析の質も上がる

	項目	内容	所要時間
個人	分析対象の提示 & 説明	・ 分析対象の基本情報の説明	3-5分
グループ作業	進行役の選出	・ 進行役1名の選出 ・ 学習者が各自のユーザ像を作成	20分
	分析項目の選出 & 製品の分析 (良さ・欠点)	・ 分析項目リストを参考に、分析すべき項目を選出 ・ ユーザ役割の視点で製品の特徴分析 (良さ・欠点) ・ マインドマップによる視覚化と情報共有	55分
グループ作業	解決方向の決定	・ 結果から解決したい問題点の優先順位をつける ・ テーマ設定によるデザイン方向性の決定	15分
	問題点抽出 & 解決案	・ 解決の目標に応じて問題点を抽出 ・ 問題点の解決	20分

3. 提案の学習法の有効性・妥当性を検証する

□ 実験方法

□ 実験手順

群	美術系 / 工学系		合計 (名)	条件	実験の実施手順						
	(グループ数×人数)				1	2	3	4	5	6	
A	3×4	2×4	20	= (グループ学習 + 分析項目リスト)	実験趣旨の説明 & 協力の許諾 (7分)	事前テスト (23分)	(10分) 分析項目リスト説明	(80分) グループ学習	休憩 (10分)	事後テスト (23分)	アンケート & 半構造化インタビュー (40分)
B	3×4	2×4	20	グループ学習							
C	3×4	2×4	20	分析項目リスト							
D	3×4	2×4	20	なし							

□ 結果

提案の学習法の効果

- ・ 初心者である学習者でも多視点から分析でき、製品分析のユニーク度が高まった
- ・ 製品分析を行うことで、製品の意図を理解したうえ、製品の改良の方向性もはっきりした

各要因の効果

- ・ 協調学習の効果: 学習者間でディスカッションを行うことによって、多様な意見を参考にしながら、製品に対する理解が深まった
- ・ 分析項目リストの効果: 分析視点をガイドする役割があり、それを参考にすることで分析視点が広がった